

トランプ候補のホテルや会社は少なくとも3回破産宣言されており、成功した実業家であるという見方を覆している。何度も訴えられて、弁護士は告発者と「和解」交渉を行っている。2025年プロジェクト(保守的なヘリテ

ナヒゲーター

ジ財団が提唱)の主張者であり、以下のような方法で「わが国の民主主義を終わらせる」ことを意図していないだろうか。

墮胎制限、不法滞在外国人の大量強制送還と亡命制度の変更、人々の生活をスパイするためのデータ監視、敵対者

日本への期待 世界各地から

(編集: 新井リム中産連)

109

選択は簡単であつたはずだが…

を罰しようとする大統領権限の拡大、投票を制限しかつ投票能力を制限、教室での批判的議論の検閲、LGBTQの権利の後退。

トランプはまた、自分の政敵や自分を不当に扱ったと思われる人々に対して、行政権を行使し訴追すると宣言した。社会保障制度や医療保険といったアメリカの社会福祉制度の縮小や廃止に賛成している。

カマラ・ハリス候補はカリフォルニア州出身の60歳の進歩的民主主義議員だ。11年から

米国大統領選 (6)

17年までカリフォルニア州司法長官、17年から21年まで上院議員、その後現在までアメリカ合衆国副大統領を務めた。ハリスは女性初、アフリカ系アメリカ人初、アジア系アメリカ人初の副大統領で、米国史上最高位の女性官僚である。

イデン大統領が撤退を決めた際に、後継者として個人的に指名した人物である。

さらに共和党が支配する下院では、移民政策をきびしくする超党派の法案を承認できなかったが、トランプはその成立を阻止した。アメリカの雇用水準は際立って「高い」ままだが、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、ハマスのイスラエル攻撃などの後遺症でインフレコストは世界的に上昇している。

私たちがトランプ候補について知っていることすべてで、私たちは世界全般に影響を及ぼすはずの虚偽、欺瞞(ぎま)、悪の歴史を持つ人物を選んでは危険ではないだろうか。

ハリスの政治経歴には、なんらの汚点や秘密はない。その資産は600万ドルで、過去に金銭的な負債もない。ハリ

スは司法長官として成功を納め、ジョー・バイデン大統領の下で副大統領になった。バ

「壁」と共に残した国境政策来への希望と変化である。

【ライアン・モリキ(ハワイ在、リム中産連) (月曜日に掲載)